

大阪府相談支援従事者現任研修 プログラム

	告示	区分	時間 (分)	科目	内容
第 1 日 目			20	オリエンテーション	○研修制度の概要、大阪府人材育成ビジョン
			30	研修受講ガイダンス	○相談支援専門員に期待される役割 ○研修の獲得目標、現任研修の構造と研修の進め方 ○インターバル・事前課題について
		講義 1	90	障がい福祉の動向	○障がい福祉施策の経緯と動向 ○相談支援事業 ○障害福祉計画障がい者支援における権利擁護と虐待防止に関わる法律等 ○各分野における動向
	《 講 義 》	講義 2	60	地域を基盤としたソーシャルワーク I (個別相談支援／意思決定支援)	○本人を中心とした支援における個別の相談支援の基本姿勢 ○社会モデルを基本とする障がい理解 ○意思決定支援の展開 ○個別相談支援のプロセスの振り返り（インテーク、アセスメント、ニーズ整理、モニタリング、終結） ○ミスポジション論の理解と5ピクチャーズ
	相 談 支 援 の 基 本 姿 勢 及 び ケ ア マ ネ ジ メ ン ト の 展 開 に 関 する 講 義 【 3 時 間 】	講義 3	60	地域を基盤としたソーシャルワーク II (多職種連携とチームアプローチ)	○相談支援におけるチームアプローチ、多職種連携の基本的事項と必要性 ○多職種連携・チーム支援の重要性 ○実践の振り返り（チームアプローチの視点と意思決定支援、チームアプローチの展開）
		講義 4	60	地域を基盤としたソーシャルワーク III (コミュニティソーシャルワーク)	○相談支援に必要な技術と「地域」 ○自立支援協議会の機能と役割 ○地域に働きかけるための技術 ○地域アセスメントとその活用法
	講義 5	90	スーパービジョンの理解とグループスーパー ビジョンの進め方	○事例研究など経験から学ぶ省察的思考の重要性 ○実践に基づいた事例研究の理論と方法 ○人材育成におけるスーパービジョンの理論と方法	

第 2 日 目	《 演 習 1 日 目 》	相 談 支 援 に 関 する 講 義 及 び 演 習 【 18 時 間 】	演習 1	360	個別相談支援【講義・演習】	【講義】 ○インテーク・アセスメント（基本相談）・モニタリングの方法 ○相談支援のプロセスの中での意思決定支援 ○セルフチェックシートのチェックのポイントと実際の現場や協議会での活用方法 【個人ワーク】 ○個別相談支援を振り返り、セルフチェックシートに記入
			演習 2		事例報告と検討課題の意見交換	【グループ演習】 ○自己紹介（アイスブレイク）／役割分担／演習の進め方確認 ○事例検討（報告）
			演習 3		インターバル①に向けた課題整理と セルフチェック	【個人ワーク】【グループ演習】 ○インターバルに向けた課題整理と抽出 【個人ワーク】 ○個別相談支援セルフチェックシート
					インターバル①の説明	○インターバル①について

イ ン タ ー バ ル	相 談 支 援 の 基 礎 技 術 に 関 する 実 習	イ ン タ ー バ ル ①	●実践例の課題について、基幹相談支援センター等から意見・助言等を受け、支援を実施する。
----------------------------	---	---------------------------------	---

大阪府相談支援従事者現任研修 プログラム

		告示	区分	時間 (分)	科目	内 容
第 3 日 目	《 演 習 2 日 目 》	相談支援に関する講義及び 演習 【18時間】	演習 1	385	インターバル①期間中の協議内容報告と 意見交換	【グループ演習】 ○インターバル①（報告）
			演習 2		チームアプローチについて【講義・演習】	【全体】 ○チームアプローチ（多職種連携）セルフチェックシートのチェックポイントの説明 【個人ワーク】 ○チームアプローチ（多職種連携）セルフチェックシートの記入 【講義】 ○サービス担当者会議の進め方と多職種連携におけるニーズの捉え方の違い、 連携方法について ○チームアプローチでの意思決定支援について ○エコマップを活用した支援について ○エコマップの記入の仕方やルールについて 【個人ワーク】 ○事前課題で作成してきたエコマップについて、加筆・修正 ○チームアプローチ・エコマップについて意見交換 【全体】 ○演習の説明 【グループ演習】 ○事例検討（報告） 【グループ演習】 ○役割分担／事例選択
			演習 3		インターバル②について	【個人ワーク】 ○インターバル報告書②（前）の記入 【グループ演習】 ○インターバル報告書②（前）報告書内容を共有 【個人ワーク】 ○自己業務の確認（チームアプローチ（多職種連携）セルフチェックシート）
					インターバル②の説明	○インターバル②について

イン タ ー バ ル	相談支援の基礎技術に関する 実習	インターバル②	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域自立支援協議会の体制や運営状況等を理解するため、協議会や部会等に参加する。 ● 自らの業務地域の相談支援体制を理解するための調査を行う。
------------------------	---------------------	---------	---

		告示	区分	時間 (分)	科目	内 容
第 4 日 目	《 演 習 3 日 目 》	相談支援に関する講義及び 演習 【18時間】	演習 1	360	インターバル②期間中の協議内容報告 と意見交換	【グループ演習】 ○インターバル②（後）報告（自立支援協議会や相談支援体制）
			演習 2		個別の支援から地域支援の展開 コミュニティワーク【講義・演習】	【講義】 ○地域とのつながりを意識した支援 （ストレッチツールバック「生活者としての顔への気づきを拡げる」を参照） ○地域資源の活用と参加、ネットワークの構築 ○ストレンスマップ及びチェックシートについて説明 【個人ワーク】 ○コミュニティワークセルフチェックシートの記入 【グループ演習】地域づくりの必要性（インフォーマルサービスの活用） ○前回の演習で選択した事例によるストレンスマップ作成 ○感想、まとめ 【グループ演習】 ○事例検討（選択事例による課題の分析） ○アセスメント表を使い、事例を深める。
			演習 3		地域課題の分析	【個人ワーク】 ○地域課題分析シート作成 【グループ演習】 ○グループで共有
			演習 4		地域支援の展開【講義・演習】	【講義】 ○地域支援の展開 【個人ワーク】 ○チェックシートを再度実施後、アクションプランを作成 【グループ演習】 ○アクションプランについてグループで共有 【全体】 ○演習の振り返り、各グループ発表、ファシリテーターからコメント
			講義		グループスーパービジョン等の継続研修の 必要性と演習全体の振り返り・まとめ	○グループスーパービジョンについて、演習リーダー統括